

# 予防接種

予防接種の記録（母子健康手帳）は大切にしましょう！！

## 令和8(2026)年度 予防接種 ※接種日に住民票が大阪狭山市にある人が対象です。

■実施方法、医療機関などは急きょ変更する場合がありますので必ずお確かめください。

最新情報は、市ホームページ [https://www.city.osakasayama.osaka.jp/kenko\\_fukushi/iryo\\_kenko/10/index.html](https://www.city.osakasayama.osaka.jp/kenko_fukushi/iryo_kenko/10/index.html)

(健康・福祉>医療・健康>予防接種)に掲載します。

ホームページはこちら▶



予防接種

予防接種名 ★生ワクチン、☆不活化ワクチン ●飲む生ワクチン		公費負担の対象年齢	回数	接種方法など		
接種費用無料 (子ども)	●ロタ	ロタリックス	2	27日以上の間隔を置いて2回	1回目は、出生6週0日後（標準的には生後2か月）から出生14週6日後まで	
		ロタテック	3	27日以上の間隔を置いて3回		
	☆B型肝炎	1歳未満 (標準的には生後2か月から)	3	初回：27日以上の間隔を置いて2回 追加：1回目から139日以上の間隔を置いて1回		
	☆小児用肺炎球菌（※1）	生後2か月～5歳未満	4	初回：27日以上の間隔を置いて3回 追加：初回3回目終了後60日以上の間隔を置いて1歳以降に1回	初回接種開始時に生後2か月～7か月未満の場合	
	☆5種混合 (百日せき / ジフテリア / 破傷風 / 不活化ポリオ / ヒブ)	生後2か月～7歳6か月未満	4	初回：20日以上の間隔を置いて3回 追加：初回3回目終了後6か月以上の間隔を置いて1回		
	★BCG	1歳未満	1	標準的には生後5か月～8か月未満		
	★麻しん風しん混合 (MR) (※2)	1期	1歳～2歳未満	1	<b>1歳になったらできるだけ早く受けましょう</b>	
		2期	小学校就学の前年度 (令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ)	1	<b>できるだけ早い時期に受けましょう</b>	
	★水痘	1歳～3歳未満	2	3か月以上の間隔を置いて2回		
	☆日本脳炎（※3）	1期	生後6か月～7歳6か月未満 (標準的には3歳から)	3	初回：6日以上の間隔を置いて2回 追加：初回2回目終了後6か月以上の間隔を置いて1回	
2期		9歳～13歳未満	1			
☆2種混合 (ジフテリア / 破傷風)	11歳～13歳未満	1				
☆HPV (子宮頸がん予防)	小学6年生～ 高校1年生相当の女子 (平成22年4月2日～平成27年4月1日生まれ)	2	<b>15歳未満で開始：6か月以上の間隔を置いて2回</b>			
		3	2か月以上の間隔を置いて2回 1回目から6か月以上の間隔を置いて1回			
一部有料	高齢者帯状疱疹	★生ワクチン ☆組換えワクチン	1	自己負担3,000円	接種期間：令和8年4月1日～令和9年3月31日（公費負担は今年のみ）	
			2	自己負担1回あたり1万円		
	☆高齢者肺炎球菌			満65歳以上※満66歳以上は事前に保健センターへ申請が必要（公費負担は生涯1回のみ）	自己負担5,000円	
	☆高齢者インフルエンザ			満65歳以上（公費負担は年度内1回、流行前の接種が有効です）	10月号「広報」でお知らせします	
☆高齢者新型コロナ			満65歳以上（公費負担は年度内1回）	10月号「広報」でお知らせします		

(※1) 接種時年齢により接種方法や回数が異なります。

(※2) 特例：令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれで1期の接種をしていない人は令和9年3月31日までの間、接種を受けることができます。

特例：平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれで2期の接種をしていない人は令和9年3月31日までの間、接種を受けることができます。

(※3) 特例：平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの人は20歳未満までの間、定期接種（1期・2期）の不足分を受けることができます。

実施場所	個別接種	大阪狭山市内等医療機関（P9）・富田林市・河内長野市内医療機関（ホームページ参照） ただし高齢者帯状疱疹、高齢者肺炎球菌は、大阪狭山市内等のみ					
	集団接種	保健センター	種類：BCG	受付時間	13：50～14：20	予約制	(TEL:072-367-1300)
		日程	5/21(木)	7/16(木)	9/17(木)	11/19(木)	1/21(木) 3/18(木)

持ちもの 母子健康手帳、予診票、筆記用具、マイナンバーカードや医療証などの氏名、住所、生年月日を確認できるもの

副反応を防ぎ、より安全に予防接種を受けていただくために、下記の事項に十分留意して受けてください。

### ◆予防接種を受ける前の注意事項

- 受ける予防接種の効果や副反応については、こんにちは赤ちゃん訪問でお渡しする予防接種の冊子を読み、不明な点は問い合わせてください。お持ちでない場合は当日接種場所でお読みください。
- 接種を受けるお子さんの日頃の健康状態をよく知っている保護者が一緒に行きましょう（原則、保護者の同伴が必要です）。

### ◆接種できない人

- 明らかに発熱している人（37.5℃以上）
- 重い急性疾患にかかっていることが明らかな人
- 接種しようとする予防接種のワクチンの成分によって、アナフィラキシー（約30分以内に起こるひどいアレルギー反応）を起こしたことがある人
- 1年以内にけいれんを起こしたことがある人（熱性けいれんの場合は2か月良好に経過すれば接種可）  
※ただし、かかりつけ医が予防接種を受けても良いと判断した場合は接種可。（てんかんは除く）
- 病気にかかり、治ってから下記の期間を経過していない人  
※ただし、接種医が予防接種を受けても良いと判断した場合は接種可。

4週間以上	麻しん(はしか)・風しん(三日ばしか)・水痘(水ぼうそう)・おたふくかぜ・無菌性髄膜炎
2週間以上(解熱後)	手足口病・突発性発疹・百日せき・ヘルパンギーナ・インフルエンザ

- その他、医師が予防接種を行うのに不適当な状態と判断したとき

8 予防接種が受けられるかどうか、主治医の診断書や意見書が必要かどうか判断に迷う場合は、事前に接種場所に確認してください。